

奥州市 シルバー人材センター会報

第3号

令和3年 新年号

編集発行／公益社団法人奥州市シルバー人材センター

〒023-0801 奥州市水沢字横町2番地1 メイプル地階
TEL 0197-25-6117 FAX 0197-25-6100

E-mail:oshu-sc@sjc.ne.jp

URL:http://www.sjc.ne.jp/oshu-sc/

OSHU SILVER HUMAN RESOURCES CENTER



胆沢ダムからの眺望（撮影／坂本和彦）

謹んで
新春のお慶びを
申し上げます



理事長 高橋 力(黒石)
副理事長 河東田 正 幸(藤里)
常務理事 坂本 和彦

理事 千田 フヨ子(真城)
金田一 嘉昭(佐倉河)

菅原 妙子(姉体)

菅野 博子(広瀬)

小野 善典(水沢)

阿部 トヨ子(常盤)

渡部 昭吉(岩谷堂)

及川 勇孝(藤里)

佐藤 敏晃(古城)

佐々木 與市(若柳)

山田 一男(南)

田中 さち子(小山)

監事

事務局次長兼業務係長

業務係長 加藤 寿治

業務係長 菊池 尚子

業務係長 高橋 杏奈

主事 菊地 由美子



令和2年度 安全就業標語コンクール最優秀賞「まあいいか 僅かな油断が 事故のもと」水沢 和川フクミ



挨拶
理事長 高橋 力

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様、ご家族の皆様におかれましては、健やかに新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により世界中が混乱し、我が国においても感染拡大が深刻化しました。感染された方々にはお見舞い申し上げますと共に、残念ながらお亡くなりになられた方々には心からお悔やみ申し上げます。

皆様も、いつ感染が拡大するのかと、不安な毎日をお過しのことと存じます。不要不急の外出を避け、手洗いとマスクの着用を徹底し、密閉・密集・密接のいわゆる三密を避けた生活を引き続き送られますようお願いいたします。

さて、当奥州市シルバー人材センターは、昨年6月17日にZホールにおいて定時総会を開催し、事業計画等についてご説明しご報告いたしました。このコロナ禍において、計画通り事業を遂行することができず思うように実績を伸ばすことができない状況にありますこと、特にも年度当初は緊急事態宣言が発せられたことにより業務がお休みとなり、一時は「どれだけ仕事が減るのだろうか。」と心配いたしました。皆様にお仕事を頑張っていただいたお陰で、10月末現在で請負、派遣共に契約金額が昨年同月期を上回る実績で推移しております。

これも偏に、皆様の丁寧なお仕事、市民の皆様に評価された賜物であると深く感謝申し上げます。

一方、会員の確保につきましては、年度当初407人でしたが、10月末までに入会が48人ありま

したが、退会も40人あり、差し引き8人の増で415人に留まっております。

会員の拡大を図るべく会員1人が新しい会員1人を連れてくる「会員一人、1人加入運動」に、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

昨年12月14日に清水寺で発表された令和2年の漢字は「密」でした。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために、政府などが三密の回避を多く発信したことからでしょうか。冒頭でも触れましたが、コロナ予防のために、三密を避けた生活を送られますようお願いいたします。

令和も3年を迎えましたが、令和3年は「丑（うし）年」です。調べてみますと、本センター会員の年男・年女は合計で47人居り、昭和12年生まれが14人（男性9人・女性5人）、昭和24年生まれが33人（男性26人・女性7人）でした。

年男、年女の皆様、誠におめでとうございます。今年1年が皆様にとって良い年となりますようご祈念申し上げます。

「牛」は、古くから食牛や乳牛、耕牛と呼ばれ、酪農や農業で人々を助けてくれる存在として重要な生き物でした。大変な農地を地道に最後まで手伝ってくれる様子から、丑年は「我慢（耐える）」や「発展の前振れ（芽が出る）」を表す年になると言われています。

今年は、昨年の分も合わせて「ぎゅっ」と内容の濃い年にしたいものです。

当センターは、令和5年には、前沢・胆沢・衣川の皆さまと一緒に「10年」、令和8年には旧水沢市と旧江刺市のシルバー人材センターが統合し奥州市シルバー人材センターとなって「20年」を迎えます。

そのときには、「一緒に頑張ったね。」とお互いに讃え合えるようなシルバー人材センターを目指して参りたいと思いますので、このコロナ禍を耐え忍びつつ、今後益々のシルバー人材センター事業の発展にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



作業現場でノボリ旗を立て、安全就業の意識の向上とシルバー人材センターのPRに取り組んでおります。



ご挨拶
奥州市長
小沢昌記様

新年あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けておられる皆様に、心よりお見舞い申し上げますとともに、貴センターにおかれましては、感染防止に大変な努力をされながら一丸となり立ち向かわれ、コロナ禍にあっても益々ご活躍のことと存じ上げます。

また、日頃より、市政発展のために格別なご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴センターにおかれましては、高齢者の就業を支援する団体として、前身である旧水沢市シルバー人材センター及び旧江刺市シルバー人材センターの時代から長きにわたり活動され、「自主・自立・共働・共助」の理念に基づき、会員一人ひとりの経験と知識を生かした働ける環境づくりや社会参加にご尽力されてこられましたことに、深く感謝申し上げます。

全国的な少子高齢化の進行に伴い、「協働のまちづくり」を標榜する本市においても、高齢化率は上昇傾向にあります。人生百年時代の到来により、意欲と能力がある限り年齢に関わりなく働き、また社会活動ができる「生涯現役社会」の実現を担う貴センターの役割は、これからはますます重要となるものと存じます。

市といたしましても、「協働のまちづくり」の実現に向けて取組むとともに、みなさまが元気にご活躍いただけるよう引き続き支援を行っていく所存ですので、今後とも貴センター及び会員のみなさまのお力添えをいただきますようよろしくお願いいたします。

今後においても、貴センターが高齢者の豊かな知識や卓越した技能を活用し、奥州パーソナル・サポート・センターを始めとした市民の支援機関と連携することで、高齢者の生きがいの充実と福祉の増進による活力ある地域社会づくりが展開されますことを期待いたします。

結びに、公益社団法人奥州市シルバー人材センターの今後ますますのご発展と会員の皆様のご健勝とご活躍を心から祈念申し上げ、年頭の挨拶とさせていただきます。



発刊祝辞と年頭挨拶
水沢公共職業安定所長
佐々木裕智様

新年明けましておめでとうございます。

公益社団法人奥州市シルバー人材センターの高橋理事長様はじめ役職員並びに会員の皆さまにおかれましては、清々しい新春を健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げますとともに、日頃からハローワーク水沢の業務運営に多大なるご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、中国武漢市での新型コロナウイルス感染報道に始まった感がある令和2年ではありましたが、当初、感染がこれだけ全世界に蔓延し、これほどまでに経済に甚大な影響を及ぼすと予想された方はどれだけいたことでしょうか。4月の第1波に始まり、11月には第3波ともいわれ、岩手県内でも複数のクラスターの発生による感染者の激増という一段と予断を許さない状況となっており、特に高齢者の方や基礎疾患のある方は重症化しやすいなどと、公私ともに感染防止を十二分に意識した中での生活により、それぞれに翻弄された一年ではなかったかと存じ上げます。

シルバー人材センターは、定年退職者等の高齢者の希望に応じた就業機会を確保し、組織的に提供することなどにより、社会参加活動を援助し、生きがいの充実と福祉の増進を図るとともに、活力ある地域社会づくりに寄与することを目的とした事業を行うなど、地域にとって重要な役割を担っているところです。

コロナウイルス感染症が一段と身近に迫ってきている中で、事業の実施が何かと困難な状況となってきましたが、感染防止を図りつつ、活力ある地域社会づくりと地域の発展のために、引き続きご尽力賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人奥州市シルバー人材センターの今後の更なる発展と会員の皆さまが健やかな一年を過ごされますことを祈念申し上げ、令和3年新年号発刊にあたっての祝辞と年頭挨拶とさせていただきます。



就業相談のご案内

就業に関する様々なご相談のある方は、ぜひ就業相談にお越しください。

日時：1月28日(木) 13:30～15:00

場所：メイプル地階 奥州市シルバー人材センター
※相談にお越しになる方が重複しないよう、事前のご予約をお勧めします。



年頭のご挨拶
奥州市シルバー人材センター
会員親睦会
会長 熊本 義男

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様、ご家族の皆様、役職員の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

奥州市シルバー人材センター会報第3号（令和3年新年号）が発刊されますことは、高橋理事長をはじめ関係各位の皆様のご尽力のお陰と感謝申し上げます。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、何かと大変な年となりました。事業計画に基づき予定しておりました各部会の実施行事は、7月にグラウンド・ゴルフ大会を実施したのみで、他の活動は実施することができませんでした。ボウリング大会、1泊親睦旅行、日帰り演芸会、作品展示発表会などの主要な行事を中止としたことから、皆様の中にはガッカリされた方も居られたことと思います。

今年は、昨年実施できなかった分も含めて、会員の皆様と一緒に頑張りたいと思っております。シルバー人材センターの理念である「自主・自立、共働・共助」の精神に基づいて、親睦会の運営及び事業の推進に対し、会員の皆様の尚一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。 

地区懇談会は中止いたします

例年2月から3月にかけて各地区で開催して参りました地区懇談会は、今年度は新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの感染拡大防止のため「中止」することといたしました。

このことについては、昨年12月18日に開催した地区長会議において協議し、地区長の皆様のご賛同をいただき、コロナ禍がある程度落ち着くまでは中止も仕方ないとの結論に至りました。

地区懇談会に代えて、皆様のご意見・ご要望を聞く機会として、2月に「会員状況調査」を実施する方向で準備を進めさせていただきます。

2月に実施する「会員状況調査」に、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

ゴールド会員のご案内

長年、シルバー人材センターで就業活動してきた会員の方が、体力の衰え等により働けなくなっても、会費の負担軽減を図ることにより継続してシルバー人材センターに留まっていたいただき、就業以外の活動で従来通り社会参加活動などにより生きがいややりがいを見出すと共に、退会の抑止を図ることを目的としてゴールド会員制度を創設し、今年度までに18の方が登録しております。

令和3年度からゴールド会員になろうとする場合は、本年3月中に理事会の承認が必要となりますので、ゴールド会員をお考えの方は忘れずに申請されますようお願いいたします。

スマイルtoスマイルサービスのご案内

スマイルtoスマイルサービスは、パソコンやスマートフォン或いはタブレットをお持ちで、インターネット環境にある方が受けられるサービスで、会員専用サイトに接続して本人の「配分金明細書」や「シルバー人材センターからのお知らせ」、「就業情報」などが閲覧できるサービスで、今年度までに利用登録者が46人となっております。

利用登録をすると、配分金明細書や事務局だよりを郵便で受け取らずに済むことから、登録した翌年度からシルバー人材センターの年会費3,500円が2,000円に軽減されます。

令和3年度から会費の割引を受ける場合は、3月中にスマイルtoスマイルサービスの利用登録が必要となりますので、スマイルtoスマイルサービス会員をお考えの方は忘れずに申請されますようお願いいたします。

確定申告は忘れずにお願いします

この度、令和2年中にお支払いした配分金の支払い証明書が、別便で発送されます。

センターから別途郵送した「配分金の収入等に対する所得税の取り扱いについて」をお読みいただき、必要な方は確定申告をされるようお願いいたします。詳細については、税務署又は市の申告相談でご確認ください。

派遣でお仕事された方には岩手県シルバー人材センター連合会より源泉徴収票が送られてきますので、ご確認ください。



奥州市 新田副市長へ要望書を提出いたしました

昨年12月10日(木)に、高橋理事長、河東田副理事長、坂本常務理事の3人が奥州市役所を訪問し、新田副市長に全国シルバー人材センター事業協会令和2年度定時総会決議に基づく「人生百年時代におけるシルバー人材センターの決意と支援の要望」と、「奥州市シルバー人材センターへの更なる支援についての要望書」をお届けし、シルバー人材センターの現状を説明すると共に、今後の財政支援、仕事の確保、物置・作業場の確保等について要望して参りました。

当日は、菊地商工観光部長のほか、佐賀福祉部長にもご同席いただき、福祉の側からもシルバー人材センターに対する理解を深めていただきました。



造園技法講習受講 お疲れ様でした

水沢職業訓練協会主催の一般市民向け講習、造園技法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの受講についてご案内したところ、本センターから、昨年5月のⅠには6人が、9月のⅡには8人が、11月と12月のⅢには8人が、それぞれ受講されました。



日程の変更があったり、追加講習があったりして受講された皆様も日程の調整に苦慮されたことと思いますが、この講習を通じて、技術の向上だけではなく、会員同士の交流ができたこと、来年から庭木剪定の班に加わることができたと、充実した講習となったように思われます。



今年は就業中の事故が2件発生しました

今年度は、昨年4月から12月までの間に、就業中の傷害事故が1件、賠償事故が1件、それぞれ発生してしまいました。

傷害事故は、庭木の剪定作業中に脚立から転落し、負傷したものでした。

賠償事故は、住宅街の空地の機械除草作業中に小石を跳ね、隣の家の窓ガラスを傷つけたものでした。

毎年事故が発生していることから、安全・適正就業委員会では、昨年9回実施した就業現場のパトロールを今年度12回実施したところでした。

これらの事故を受け、安全・適正就業委員会の田村委員長と佐藤(敏)副委員長は、11月20日に

作業会員との意見交換を行い、作業の実情を確認すると共に、どうして事故が起きるのか、起こさないためにどうするかについて活発に意見を交わし、お互いに認識が深まったものとなりました。

今年こそは、事故のない年としたいものです。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



令和2年10月末現在の事業実績

項目	令和2年10月末	令和元年10月末	対前年同月期比
会員数	415人	446人	93.1%
4月～10月 新規入会者数	48人	45人	106.7%
4月～10月 退会者数	40人	29人	153.8%
請負 受注件数	2,741件	2,819件	97.2%
就業延日人員	18,482人日	19,560人日	94.5%
契約金額	115,255,488円	114,797,445円	100.4%
派遣 受注件数	35件	58件	60.3%
就業延日人員	1,102人日	994人日	110.9%
契約金額	6,175,967円	5,695,306円	108.4%

地区奉仕活動 お疲れ様でした

コロナ禍にも関わらず各地区で奉仕活動をしていただきました。参加された皆様、お疲れ様でした。



上段左は姉体地区、右は黒石地区、中段左は水沢地区、右は水沢南地区、下段左は伊手地区の写真です。

※常盤地区でも9月12日(土)に常盤小学校で奉仕活動を予定しましたが、9月初めに奥州市でコロナ感染者が出たことを受け、中止としました。

次号へのご寄稿をお願いいたします

本号の内容はいかがでしたでしょうか。

本年7月発刊予定の次号(第4号)からは、会員の皆さんのページを設け、皆さんの詩、川柳や短歌、写真などの作品のほか、親睦会活動や普段の就業活動など文章にして掲載したいと思います。

原稿の締切りは、本年6月開催予定の令和3年度定時総会のあたりとさせていただきますので、今からご準備に取り掛かっていただければと思います。皆様のご寄稿をお待ちしております。

雪かき作業 出動中！！

昨年12月中旬頃から例年になく記録的な大雪に見舞われ、シルバー人材センターにも連日、雪かきの問い合わせや依頼が殺到しております。

就業されている会員の皆様、大変お疲れ様です。

雪かき作業は重労働で、依頼も集中するので就業会員が不足しております。

雪かき作業会員の確保に、皆様のご協力をお願いいたします。



2月の血压測定のお知らせ

会員の皆様の日頃の健康管理に役立てていただくため、次により血压測定を実施いたしますので、ぜひお越しください。

日時：2月1日(月) 10:00～15:00

場所：メイプル地階 奥州市シルバー人材センター

※血压測定は、無料で行っております。

※血压測定は、偶数月の月初日に実施しております。次は、4月1日(木) 実施予定です。

編集後記

会報第3号を発刊いたしました。未だ会報編集委員会を組織しておらず、コロナ禍で行事もなければ取材も思うようにできず、内容的には乏しいものとなってしまいました。

次号からは就業状況、会員の声、お客様の声など、内容も多岐にわたって掲載して参りたいと思いますので、会員の皆様、これをお読みいただいた関係各位の皆様からのご意見、ご要望及びご情報をお待ちしております。S

